

《課題名》

消化管悪性リンパ腫の拡大内視鏡所見についての後方視的研究

《研究対象者》

2011年から2018年の間に、消化管原発悪性リンパ腫と病理組織学的に診断された方のうち、NBI併用拡大内視鏡検査を施行された患者さんを対象とする。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：消化管悪性リンパ腫の拡大内視鏡所見についての後方視的研究

研究期間： 機関の長の承認後(2019年08月30日)～2020年12月31日まで

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 消化器内科 稲富理

（２）研究の意義、目的について

消化管悪性リンパ腫は多彩な内視鏡像を呈し、診断に苦慮することも多い疾患です。NBI(Narrow band imaging; 狭帯域光観察)という画像強調技術を併用した内視鏡を用いて、診断能の向上など有用性を調査するのが目的です。

（３）研究の方法について

・研究の内容

2011年1月より2018年12月までの期間に、滋賀医科大学附属病院で病理組織学的に消化管原発悪性リンパ腫と診断された方のうち、光学医療診療部で拡大機能付き内視鏡を用いて病変を観察出来た方を対象とします。その組織型と内視鏡所見を比較し、診断に有用な内視鏡所見を検討します。

・利用する情報

診断名、拡大内視鏡観察で得られた画像所見、病理組織学所見、年齢、性別

（４）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。

また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（６）利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、2019年11月までに下記（７）にご連絡ください。

（７）問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 消化器内科 稲富理

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2217